ぐっすりーぷ
Vol.14No.3
SAS支援会

〒951-8061
新潟市中央区
西堀通5番町
こうの歯科
(担当：河野)
025-226-6050

医師・歯科医師国家試験（2023年）

歯科医師国家試験がますます難化

合格率は医師91.6%、歯科医師63.5%

去る3月16日に2023年の医師・歯科医師国家試験の合格者が厚生労働省より発表された。医師国家試験は1万293名受験して9，432名合格し、合格率は91．6%、歯科医師国家試験は3，157名受験して2，006名合格し、合格率は63．5%であった。大学別の合格率は医師は100%から79．2%とほぼ均一の合格率でしたが、歯科医師は95．0%から24．3%と大学によって大きな隔たりがありました。

ある大学関係者は「江戸時代に口中科医と呼ばれた歯科医師は、口唇、頬粘膜、上下歯槽、硬口蓋、舌前3分の2、口腔底に、軟口蓋、顎骨（顎関節を含む）、唾液腺（耳下腺を除く）を診療しなければならないのですが、昭和時代に社会問題になった虫歯パンデミックに対応するため歯を削って詰め、抜いて入れ歯を入れるという矮小化された歯科医療を行わざるを得ませんでした。しかし、足りなかった歯科医師数も適正に増え、やっと本来の口中科医療を行う余裕が出てきました。今はまさに大きなパラダイムシフトの最中なのです。残念ながらパラダイムシフトの認識には大学間で大きな温度差があり、国家試験の合格率の差もその認識があるかどうかの差ではないかと思います」とのこと。

確かに最近の歯科医療を鑑みれば、歯周病菌が様々な臓器を侵すことが次々と証明され歯科医師が介入しなければならない内科疾患が増えております。さらに日本人の死因の多くを占める誤嚥性肺炎を予防するため口腔内の肺炎球菌を制御するのも歯科医師の仕事であり責任になっております。

2面　「歯科医師国家試験の難化」
「須田会長のしょっぺ店の楽しみ方」
「気になる医療ニュース」
「思い出のぐっすりーぷ」
1面

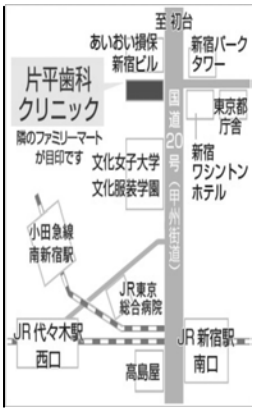
しょっぺ店の楽しみ方40
「旅情　秋田居酒屋編」

支援会会長　須田　和行
新潟バーベキュー協会会長

JR東日本150周年記念の3日間乗り放題切符をゲットしたので東北旅行に行ってきました。新潟から4時間程の旅ですが、酒田で途中下車してイカ山盛り丼のお昼を食べ、いざ2年ぶりの秋田市へ。

秋田には大学アーチェリー部の同期と先輩がいてリアルで会うのは20年ぶり位なんです。駅に着いて早速駅ビル内のレストランで秋田のクラフトビール飲み比べセットを注文し喉の渇きと疲れを癒します。旅先で昼間から飲むビールってなんでこんなに美味しいんでしょうねぇ。

ホテルで一休みした後友人セレクトで駅近くの「秋田長屋酒場」さんへ参りました。なまはげが両側に立ち、入口からしてすでにザ・秋田といった佇まいで店内も太い梁や柱など重厚な作りです。早速生ビールで乾杯し学生時代の話などで盛り上がったところで秋田の地酒にチェンジ。両関、高清水といったメジャーな秋田銘酒ではなく友人セレクトで珍しい地酒を立て続けに頂き、肴はもちろん秋田名物きりたんぽ鍋、じゅんさい、ハタハタと美味しい地物のオンパレードです。しばらくすると拍子木の音色とともに口上が始まり、なまはげが登場するとのこと。テレビや動画では見ていますが、生でなまはげを見るのは初めての体験でその大きさと迫力にビックリ！これは直に見たら子供は怖くて泣きますねぇ。その後もしこたま秋田銘酒を堪能し、締めに秋田名物稲庭うどんを頂いてから友人と別れ、酔っぱらいは駅前を散策し居酒屋でハイボールを飲んでホテルに帰りました。ありがとう秋田。そして翌日は青森市へ。



医療法人康治会
片平歯科クリニック
www.katahiradental.com/

The Good Sleep Archives (13)

原因は「顎の骨格」「肥満」、それと「低位舌」
ー レム睡眠行動異常症と歯ぎしり ー

第３巻3号（2012年3月）

レム睡眠行動障害と歯ぎしり
寝言と歯ぎしりの意外な関係

今年の日本睡眠学会のシンポジウムでは歯ぎしりのセッションを担当しますので、今号は歯ぎしりとレム睡眠行動障害の関連についてお話します。無呼吸とは関係ないと思うかもしれませんが、歯ぎしりもレム睡眠行動障害も身近な病気ですので、ちょっとお付き合いください。

歯ぎしりは「子どもの時分にあってもどうせ大人になれば消えるもの」と信じている人も多いと思います。それは、今まで研究してきた歯科医らがカリカリ音が出るものだけを歯ぎしりと考えたからです。歯ぎしりには食いしばりや歯がゆるんで音が出ないものもあります。

実は、睡眠中に歯ぎしりが起こること自体が問題で、音が出ないから、歯がなくなったから治療しなくていいという訳にはいきません。そこで問題になるのは、レム睡眠行動障害という病気です。レム睡眠では夢を観ますが、全身が金縛りで動けない状態になりますので、夢を観て寝言を言ったり体を動かしたりすることはできません。しかし、できない筈ができてしまうのが、このレム睡眠行動障害なのです。そして、もしかしたら、歯ぎしりがこの病気の前駆症状かもしれないのです。

この二つの病気の関連を明らかにするのが今度のシンポジウムでの私たちの使命です。

レム睡眠行動障害は脳自体の病気で、発症して10年以内に50％の患者がレビー小体型認知症、パーキンソン病、多系統萎縮症という恐ろしい病気を引き起こします。まだ予防法はありませんが、歯ぎしりの研究から新たな事実が見つかればいいと思っております。

河

今月の気になる医療ニュース

4077 オミクロン株「XBB.1.5系統」に対する治療薬とワクチンの効果
4078 GLP-1受容体作動薬含有製剤などに重大副作用追記
4079 中年期に頸動脈プラークあると高齢期の聴力低下？
4080 脳損傷による脳の空洞をゲルで埋め、脳神経を再構築
4081 ビタミンD補給で前糖尿病から糖尿病への進行リスク低下
4082 妊娠性鼻炎、病因の一端を解明か
4083 ビタミンD補給で自殺リスクは下がるか？
4084 コロナの抗ウイルス薬でウイルス再増殖リスク増えず
4085 閉経期ホルモン療法の乳がんリスク、期間や製剤により差
4086 総合診療科を目指す研修医・専攻医が読むべき医学書5選
4087 ABPC/SBT耐性の菌血症、次の一手は
4088 思春期の睡眠不足や睡眠の質不良で多発性硬化症リスク上昇
4089 妊娠中ワクチン接種で出生児の百日咳発生率低下
4090 60歳以下での心血管疾患発症で認知機能低下
4091 体内時計を利用した「時間治療」とは？
4092 SGLT2阻害薬、DPP-4阻害薬よりCVリスク低下大きい
4093 乳児用調整乳の健康強調表示、4分の3が根拠提示せず
4094 意識消失の原因に薬剤処方量が関与か
4095 良性の側頸嚢胞と思いきや、中咽頭癌
4096 コロナの教訓を高齢者の急性期入院医療にどう生かすか
4097 COVID-19感染拡大、現在でも夜間営業の飲食店が重要場面
4098 CT結果知らされず肺がん発見遅れ、40.2%が医師の責任は中
4099 少量飲酒継続または飲酒量減量で認知症リスク低下
4100 コロナのリバウンドは抗ウイルス薬なしでも起こる
4101 早期乳がん補助療法の推奨が70歳で激減、年齢バイアスか？
4102 エアロゾル吸入シンチグラフィが示すCOPDの真実と吸入薬の作用
4103 特定の変異がある大腸がん治療に大変革の可能性
4104 他人を思いやる行為は抑うつや不安の症状を軽くする？
4105 多剤併用患者のSJS、初期対応と診断のポイント
4106 コロナ禍でがん医療に起きていたこと
4107 糖尿病が五十肩のリスク因子の可能性
4108 返戻は"蜘蛛の糸"である
4109 ステロイド減量中に死亡――SJSで注意要する消化管出血

編集後記

文系で最難関と言われる司法試験の合格率は45.5％（2022年）。それには及びませんが歯科医師国家試験の難化が著しい。優秀な歯科医師が生まれるのは歓迎だが、合格率の大学ガチャは受験生にかわいそうだ。河

来月から新潟大学医歯学附属病院の摂食嚥下リハビリセンターにスタッフとして就職します。こうの歯科では今まで通りに睡眠歯科診療を継続しますので、これからもよろしくお願いします。茜

本紙のホームページを立ち上げました

http://sleptwell.jp

① 睡眠時無呼吸症候群を取り巻く病気（バックナンバー）
② コミック『いびき症三兄弟』（バックナンバー）
③ 気になる医療ニュース
④ 睡眠に関する耳より情報や豆知識
⑤ 日本睡眠学会認定機関の紹介
⑥ 睡眠障害自動診断

こばやし内科
すいみん医科歯科センター　医科本部
内科・歯科
小林義昭
河野正己
中央区紫竹山6
025-246-5600

こうの歯科
すいみん医科歯科センター　歯科本部
歯科・口腔外科
河野美砂子
河野　茜
中央区西堀通５
025-226-6050

古町心療クリニック
すいみん医科歯科グループ
心療内科・精神科
村竹辰之
中央区西堀前６
025-224-7771